



PRX の実験のイメージ図。研究所内の担当デザイナーの人に細かい要望を反映していただきました。

研究

- 僕の実験室の初めての論文がアメリカ物理学会の [PRX 誌に出版](#)され、ありがたいことにプリンストン大の研究室の近い内容の論文とともに、[紹介文が掲載](#)されました。また、僕の研究所が発表した[紹介文はこちら](#)です。
- 着々と次の論文の準備もできてきています。最近では4人のラボメイトを2、2に分けてチームの様に分担し、別々のプロジェクトを押し進めるようになってきたので、同時期に2つの論文を出すことができるかもしれません。これら3つの論文が装置作りの報告的な論文となり、その後は実際にサイエンスに取り組んでいく予定です。
- 最近では僕一人だけでもメインの実験をオペレートできるようになってきました。このおかげで深夜、気が済むまで誰にも邪魔されずに実験をする楽しさを覚えてきましたが、生活習慣の乱れからくる倦怠感の様なものを感じる時が時々ありました。長時間睡眠を取れば治るのですが、ワークライフバランスについても考えないといけないと思います。
- 一年前にアメリカに来た時からサブプロジェクトとして任されていたレーザーシステムがついに完成間近になり、もうすぐメインの実験に組み込もうという状況です。これにより初めて、装置が量子コンピュータと呼べるものになってくるのでとても楽しみです。（先の論文などは qbit 間の相互作用を入れる前段階の結果の報告でした。）
- 最近思うのが、勉強と研究のバランスです。直近の研究結果に最適化して物事を勉強すると長期的に重要な知識や、思いがけない発想の仕方などに必要な根の張った知識の様なものを取り逃がしてしまうという問題があると思います。実験をしていない午前中に意識的に教科書や論文を深く読む時間を作るなど工夫をしていかないといけないと思っています。研究が忙しくなるほど忘れがちな、「**科学を楽しむ**」ということを日々意識して生きていきたいです。

授業

- 研究最優先なので最小限の力で終わらせています。特に今季は授業をスキップする味を占めてしまったので、週末に後から授業ノートを見て宿題をやるというふうにしていました。
- 今季は量子センシングの授業と物性向けの経路積分の授業を取っていました。どちらもいい先生で当たりだったと思っています。

生活

- コロラドには世界有数のスキー場がいくつもあります。スキーには今シーズン合わせて15回ほどいき、コブなどもいけないできるようになってきました。
- 今までと同じ家に住んでいるのですが、ルームメイトが一人交代し、結果的に4人全員が僕の研究所関連の人間ということになりました。それに合わせてリビングなどの雰囲気も変わり、とても住みやすい家になってきました。